

# 最上川200キロを歩く 小学校探検リレー

5月12日に酒田市の最上川河口からスタートした、『最上川200キロを歩く』。最上川の下流から上流に向かって11週にわたり、計12の小学校の児童たちがリレーします。

第8週の6月30日は、白鷹町立鮎貝あゆかい小学校の4・5年生16名が  
新五百川橋いもかわ（朝日町）から睦橋むつみ（白鷹町）の区間を担当しました。



まずはバスで移動し、白鷹町の黒滝橋付近にある「つぶて石」から  
菖蒲しょうぶ水位観測所（白鷹町）まで歩きました。



薬品が入っているチューブに川の水を入れ、  
水質検査をしました。



「つぶて石」  
怪力を持つ朝比奈三郎が、朝日岳の頂上から投げたという  
ロマンと伝説の巨石。手形のような大きい跡が、  
「つぶて石」の裏に付いているという伝説も・・・。

午後からは、国土交通省の緊急資材倉庫を見学し、  
荒砥あらい橋から睦橋むつみまで堤防沿いの道のりを  
元気いっぱい歩きました。



白鷹町荒砥あらいにある緊急資材倉庫を見学しました。  
洪水に備え、土のうなどの資材を備蓄しています。



ゲストティーチャー 渋谷さんのお話。  
最上川舟運の歴史を学びました。

国土交通省 東北地方整備局  
山形河川国道事務所 長井出張所  
〒993-0002 山形県長井市屋城町4-39  
TEL:0238-88-2310/FAX:0238-84-1142